



2024年5月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月12日

上場会社名 株式会社Enjin 上場取引所 東
 コード番号 7370 URL https://www.y-enjin.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本田 幸大
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部本部長 (氏名) 平田 佑司 (TEL) 03-4590-0808
 定時株主総会開催予定日 2024年8月23日 配当支払開始予定日 2024年8月26日
 有価証券報告書提出予定日 2024年8月26日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期の連結業績(2023年6月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	3,267	—	1,045	—	1,078	—	749	—
2023年5月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年5月期 749百万円(—%) 2023年5月期 一百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年5月期	105.08	104.43	17.61	20.45	31.99
2023年5月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2024年5月期 一百万円 2023年5月期 一百万円

※当社は、2023年5月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期の対前期増減率並びに2023年5月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	5,054	4,357	86.0	621.71
2023年5月期	5,493	4,163	75.6	572.95

(参考) 自己資本 2024年5月期 4,349百万円 2023年5月期 4,156百万円

(注) 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年5月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年5月期	230	△165	△585	3,538
2023年5月期	—	—	—	—

※当社は、2024年5月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年5月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年5月期	—	13.00	—	22.80	35.80	261	—	6.2
2024年5月期	—	13.00	—	23.80	36.80	260	35.0	6.1
2025年5月期(予想)	—	13.00	—	23.80	36.80		—	

3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年6月1日~2025年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,701	△17.3	548	△47.5	548	△49.1	380	△49.2	53.34

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名） — 、除外 一社（社名） —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期	7,268,200株	2023年5月期	7,253,800株
② 期末自己株式数	2024年5月期	272,267株	2023年5月期	67株
③ 期中平均株式数	2024年5月期	7,128,108株	2023年5月期	7,362,335株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年5月期の個別業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	3,064	△12.0	1,048	△19.6	1,076	△18.1	755	△14.1
2023年5月期	3,481	13.6	1,303	8.3	1,313	6.2	879	6.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年5月期	106.03		105.38					
2023年5月期	119.45		118.54					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期	5,038	4,366	86.5	622.97
2023年5月期	5,070	4,166	82.0	573.24

(参考) 自己資本 2024年5月期 4,358百万円 2023年5月期 4,158百万円

2. 2025年5月期の個別業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,577	△15.8	575	△45.0	575	△46.4	410	△45.6	57.65

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	1 1
(継続企業の前提に関する注記)	1 1
(企業結合等関係)	1 1
(セグメント情報等)	1 1
(1株当たり情報)	1 3
(重要な後発事象)	1 4

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用環境の改善など社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向がみられました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化、急激な為替相場の変動や物価高騰などにより、依然として先行きが不透明な状況が続いております。このように経済環境や社会情勢が変化する中で企業、医療機関における経営課題は益々複雑化しております。

このような環境下において、当社グループは「社会の役に立つ立派な人間を一人でも多く輩出する」ことをパーパス（存在意義）として位置づけ、このパーパスを体現し、持続的成長を実現するために「あらゆる価値を可視化する」ことをミッションとして、企業価値向上に取り組んでおります。

業種、企業規模に関わらず、あらゆる企業や団体等にPRサービスを提供し、魅力ある情報を世の中に伝え、社会全体の幸福度を高めていくことを目指してサービス展開をしており、前連結会計年度にはアズ・ワールドコムジャパン株式会社を子会社化し、新たに戦略PRをサービスに加えることでより幅広いサービスの提供が可能な体制を構築してまいりました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は3,267,043千円となりました。利益面においては、営業利益1,045,419千円、経常利益1,078,370千円、親会社株主に帰属する当期純利益749,011千円となりました。

当社グループの報告セグメントは、従来「PR事業」のみの単一セグメントでありましたが、前連結会計年度末より、アズ・ワールドコムジャパン株式会社の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、単一セグメントから「ダイレクトブランディングサービス」、「ストラテジックPRサービス」、「PRプラットフォームサービス」の3区分に変更しました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ダイレクトブランディングサービス

ダイレクトブランディングサービスにおきましては、オウンドメディアの新規顧客開拓に注力を行い、新規売上に占めるオウンドメディアの割合を前年より9.5%拡大し、外的要因に影響されない基盤づくりを行いました。また、既存顧客の継続率向上に努め、前年より2.3%向上しております。

この結果、売上高は2,683,750千円、セグメント利益は978,022千円となりました。

②PRプラットフォームサービス

PRプラットフォームサービスにおきましては、プラットフォームサイトの機能開発強化やユーザビリティ向上に努め、さらなる顧客利便性の追求及び付加サービスの拡充等により顧客数の拡大に取り組みました。

この結果、売上高は380,502千円、セグメント利益は70,238千円となりました。

③ストラテジックPRサービス

ストラテジックPRサービスにおきましては、売上高242,492千円、セグメント利益は14,360千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は5,054,743千円であります。前連結会計年度末と比較いたしますと、439,121千円減少しております。これは主に、配当金の支払いをしたこと及び法人税等を納付したこと等により現金及び預金が545,612千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は697,447千円であります。前連結会計年度末と比較いたしますと、632,494千円減少しております。これは主に、買掛金が356,337千円減少したこと及び未払法人税等が156,816千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は4,357,296千円であります。前連結会計年度末と比較いたしますと、193,373千円減少しております。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により749,011千円増加したものの、自己株式の取得により297,280千円減少したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は3,538,211千円となり、前連結会計年度末と比較し、520,562千円減少しました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、230,678千円の収入となりました。これは主に税金等調整前当期純利益1,078,370千円、買掛金の減少による資金の減少356,337千円、法人税等の支払額499,291千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、165,454千円の支出となりました。これは主に投資事業有限責任組合出資の払戻による収入304,619千円、投資有価証券の取得による支出300,000千円、貸付けによる支出144,700千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、585,786千円の支出となりました。これは主に自己株式の取得による支出299,256千円、配当金の支払額259,474千円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは、創業来の既存事業である企業、医療機関を対象としたダイレクトブランディングサービスを主軸として堅牢な売上基盤を構築し、成長事業であるPRプラットフォームサービスの認知度を上げて成長させることにより、引き続き、顧客のPR戦略を総合的にサポートできる事業強化を継続的に進めてまいります。また、グループ全体としてストラテジックPRサービスの拡大に注力することで新しい売上高の創出に努めます。そのためには、人材採用・育成の強化及び広告宣伝費等への積極投資を行っていきたいと考えており、翌連結事業年度の業績見通しは、売上高は2,701百万円、営業利益は548百万円、経常利益は548百万円、当期純利益は380百万円を見込んでおります。

また、上記の業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準を採用しております。国際財務報告基準の適用につきましては、国内外の諸動向を考慮しつつ検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,083,823	3,538,211
売掛金	105,990	78,798
棚卸資産	7,892	6,857
未収入金	332,514	283,140
前払費用	78,003	90,598
その他	231	19,822
貸倒引当金	△24,918	△28,059
流動資産合計	4,583,537	3,989,370
固定資産		
有形固定資産		
建物	143,365	198,881
減価償却累計額	△38,239	△52,872
建物（純額）	105,126	146,008
車両運搬具	30,159	30,266
減価償却累計額	△15,216	△14,366
車両運搬具（純額）	14,943	15,899
工具、器具及び備品	107,671	112,132
減価償却累計額	△72,741	△86,772
工具、器具及び備品（純額）	34,930	25,359
土地	1,107	3,686
有形固定資産合計	156,107	190,954
無形固定資産		
ソフトウェア	36,068	35,097
顧客関連資産	48,000	41,142
のれん	66,384	59,745
その他	509	2,101
無形固定資産合計	150,962	138,087
投資その他の資産		
投資有価証券	393,734	383,632
繰延税金資産	61,054	58,386
長期貸付金	—	144,700
破産更生債権等	23,673	23,003
その他	148,469	149,613
貸倒引当金	△23,673	△23,003
投資その他の資産合計	603,257	736,332
固定資産合計	910,327	1,065,373
資産合計	5,493,864	5,054,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	394,171	37,833
1年内返済予定の長期借入金	3,384	—
未払金	37,697	23,107
未払費用	67,502	71,504
未払法人税等	270,013	113,197
前受金	345,274	355,076
賞与引当金	65,869	53,917
その他	75,474	8,197
流動負債合計	1,259,388	662,835
固定負債		
長期借入金	24,946	—
繰延税金負債	15,438	13,647
その他	30,167	20,964
固定負債合計	70,552	34,612
負債合計	1,329,941	697,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	904,012	904,650
資本剰余金	874,012	874,650
利益剰余金	2,378,231	2,867,609
自己株式	△218	△297,498
株主資本合計	4,156,038	4,349,411
新株予約権	7,884	7,884
純資産合計	4,163,923	4,357,296
負債純資産合計	5,493,864	5,054,743

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
売上高	3,267,043
売上原価	613,566
売上総利益	2,653,477
販売費及び一般管理費	1,608,057
営業利益	1,045,419
営業外収益	
受取利息	1,009
受取配当金	14
貸倒引当金戻入額	2,173
保険解約返戻金	7,693
匿名組合投資利益	25,637
固定資産売却益	2,470
その他	3,615
営業外収益合計	42,613
営業外費用	
支払利息	326
為替差損	1,040
投資事業組合運用損	2,774
自己株式取得費用	1,976
固定資産除却損	1,916
その他	1,627
営業外費用合計	9,662
経常利益	1,078,370
税金等調整前当期純利益	1,078,370
法人税、住民税及び事業税	328,482
法人税等調整額	876
法人税等合計	329,359
当期純利益	749,011
親会社株主に帰属する当期純利益	749,011

連結包括利益計算書

	(単位：千円)
	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純利益	749,011
包括利益	749,011
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	749,011

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	904,012	874,012	2,378,231	△218	4,156,038
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	637	637	—	—	1,274
剰余金の配当	—	—	△259,632	—	△259,632
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	749,011	—	749,011
自己株式の取得	—	—	—	△297,279	△297,279
当期変動額合計	637	637	489,378	△297,279	193,373
当期末残高	904,650	874,650	2,867,609	△297,498	4,349,411

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	7,884	4,163,923
当期変動額		
新株の発行(新株予約権の行使)	—	1,274
剰余金の配当	—	△259,632
親会社株主に帰属する当期純利益	—	749,011
自己株式の取得	—	△297,279
当期変動額合計	—	193,373
当期末残高	7,884	4,357,296

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	1,078,370
減価償却費	57,541
のれん償却額	6,638
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,644
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,951
受取利息及び受取配当金	△1,023
支払利息	326
匿名組合投資損益 (△は益)	△25,637
固定資産除却損	1,916
売掛金の増減額 (△は増加)	27,191
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,035
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△18,774
未収入金の増減額 (△は増加)	49,373
前払費用の増減額 (△は増加)	△12,597
買掛金の増減額 (△は減少)	△356,337
未払金の増減額 (△は減少)	△14,599
未払費用の増減額 (△は減少)	△3,921
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△58,932
前受金の増減額 (△は減少)	4,781
その他	1,229
小計	729,273
利息及び配当金の受取額	1,023
利息の支払額	△326
法人税等の支払額	△499,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	230,678
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△72,601
有形固定資産の売却による収入	3,281
無形固定資産の取得による支出	△13,846
匿名組合分配金受取額	25,637
投資有価証券の取得による支出	△300,000
投資事業有限責任組合出資の払戻による収入	304,619
貸付けによる支出	△144,700
保険積立金の解約による収入	13,621
定期積金の払戻による収入	25,049
リゾート会員権の取得による支出	△9,847
その他	3,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,454
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△28,330
新株予約権の行使による収入	1,274
自己株式の取得による支出	△299,256
配当金の支払額	△259,474
財務活動によるキャッシュ・フロー	△585,786

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△520,562
現金及び現金同等物の期首残高	4,058,773
現金及び現金同等物の期末残高	3,538,211

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2023年3月24日(みなし取得日2023年5月31日)に行われたアズ・ワールドコムジャパン株式会社との企業結合について、前連結会計年度末において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。

この結果、前連結会計年度末において暫定的に算定されたのれんの金額97,915千円は、会計処理の確定により31,531千円減少し、66,384千円となっております。のれんの減少は、無形固定資産が48,000千円、繰延税金負債が16,468千円それぞれ増加したことによるものです。

また、のれんの償却期間は10年、のれん以外の無形固定資産に計上した顧客関連資産の償却期間は7年であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループはPR支援サービスを中心としたサービス別のセグメントから構成されており、「ダイレクトブランディングサービス」、「PRプラットフォームサービス」、「ストラテジックPRサービス」の3つを報告セグメントとしております。「ダイレクトブランディングサービス」はクライアントのメディア露出の支援、「PRプラットフォームサービス」はクライアントのメディアマッチング機会向上の支援、「ストラテジックPRサービス」はクライアントの戦略的PRの支援を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	ダイレクト ブランディ ングサービ ス	PRプラット フォームサ ービス	ストラテジ ックPRサー ビス	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,683,750	380,502	202,792	3,267,044	—	3,267,043
外部顧客への売上高	2,683,750	380,502	202,792	3,267,044	—	3,267,043
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	39,700	39,700	△39,700	—
計	2,683,750	380,502	242,492	3,306,744	△39,700	3,267,043
セグメント利益又は損失(△)	978,022	70,238	14,360	1,062,620	△17,200	1,045,419
その他の項目						
減価償却費	36,703	13,219	7,619	57,541	—	57,541
のれんの償却額	—	—	6,638	6,638	—	6,638

- (注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引の消去であります。
 (注) 2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。
 (注) 3. 事業セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産の記載は行っておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントに配賦しております。

(追加情報)

報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「PR事業」のみの単一セグメントでありましたが、前連結会計年度にアズ・ワールドコムジャパン株式会社の全株式を取得したことに加え、2024年5月期を初年度とする中期経営計画において、主たる事業であるPR支援サービスの更なる強化を図るとともに、PR支援サービスで培ってきた競争優位を活用する事業を「プラットフォームサービス」、新たな顧客層の拡大を図るサービスを「戦略PRサービス」として定義し、コア事業の成長の加速を目指すことを基本方針としています。

これらにより、単一セグメントから「ダイレクトブランディングサービス」、「ストラテジックPRサービス」、「PRプラットフォームサービス」の3区分により開示しております。

なお、変更後の報告セグメントの区分によった場合の前連結会計年度の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報は次のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	財務諸表計上額
	ダイレクトブランディングサービス	PRプラットフォームサービス	ストラテジックPRサービス	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,083,746	397,267	—	3,481,014	—	3,481,014
外部顧客への売上高	3,083,746	397,267	—	3,481,014	—	3,481,014
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,083,746	397,267	—	3,481,014	—	3,481,014
セグメント利益又は損失(△)	1,273,441	29,722	—	1,303,163	—	1,303,163
その他の項目						
減価償却費	31,972	10,643	—	42,615	—	42,615
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—

【関連情報】

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	ダイレクト ブランディングサービス	PRプラットフォームサービス	ストラテジックPRサービス	計		
当期末残高	—	—	59,745	59,745	—	59,745

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり純資産額	572.95円	621.71円
1株当たり当期純利益	—円	105.08円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—円	104.43円

(注) 1. 前連結会計年度は連結損益計算書を作成しておりませんので、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益は記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
(1) 1株当たり当期純利益	—円一銭	105円08銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	—	749,011
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	—	749,011
普通株式の期中平均株式数(株)	—	7,128,108
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—円一銭	104円43銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	44,026
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	第3回新株予約権 新株予約権の数 3,620個 (普通株式 362,000株)

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,163,923	4,357,296
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	7,884	7,884
(うち新株予約権) (千円)	(7,884)	(7,884)
普通株主に係る期末の純資産額(千円)	4,156,038	4,349,411
普通株式の発行済株式数(株)	7,253,800	7,268,200
普通株式の自己株式数(株)	67	272,267
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	7,253,733	6,995,933

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬制度の導入)

当社は、2024年7月12日開催の取締役会において、役員報酬制度の見直しを行い、譲渡制限付株式報酬制度（以下、「本制度」という。）の導入を決議し、本制度に関する議案を2024年8月23日開催予定の第18回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

詳細については、2024年7月12日公表の「譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ」をご参照ください。